

NO.	題名	著者	掲載誌
435	Blood. 2007 Jun 15;109(12):5477-80.	Spontaneous improvement of hematologic abnormalities in patients having juvenile myelomonocytic leukemia with specific RAS mutations.	Matsuda K, Shimada A, Yoshida N, Ogawa A, Watanabe A, Yajima S, Iizuka S, Koike K, Yanai F, Kawasaki K, Yanagimachi M, Kikuchi A, Ohtsuka Y, Hidaka E, Yamauchi K, Tanaka M, Yanagisawa R, Nakazawa Y, Shiohara M, Manabe A, Kojima S, Koike K.
436	Leukemia. 2007 21(2):288-96.	Hypercalcemia in childhood acute lymphoblastic leukemia: frequent implication of parathyroid hormone-related peptide and E2A-HLF from translocation 17;19	Inukai T, Hirose K, Inaba T, Kurosawa H, Hama A, Inada H, Chin M, Nagatoshi Y, Ohtsuka Y, Oda M, Goto H, Endo M, Morimoto A, Imaizumi M, Kawamura N, Miyajima Y, Ohtake M, Miyaji R, Saito M, Tawa A, Yanai F, Goi K, Nakazawa S, Sugita K
437	Pediatric Reserch. 2007	Interleukin-15 inhibits cell proliferation and hyaluronan production in smooth muscle of rat ductus arteriosus.	Iwasaki S, Minamizawa S, Yokoyama U, Akaike T, Nagashima Y, Nishimaki S, Ishikawa Y, Yokota S
438	臨床検査(0485-1420)52巻1号 Page79-84(2008.01)	【インフルエンザ診療のブレイクスルー】抗インフルエンザ薬と異常言動	横田俊平
439	小児感染免疫(0917-4931)19巻4号 Page447-449(2007.12)	感染症と免疫疾患のcross talk 炎症の考え方	横田俊平
440	日本小児科学会雑誌(0001-6543)111巻12号 Page1559-1567(2007.12)	インフルエンザに伴う臨床症状の発現状況に関する調査研究(第2報) 薬剤使用と臨床症状発現との関連についての統計解析	藤田利治(文部省統計数理研究所), 森雅亮, 根津敦夫, 奥村彰久, 細矢光亮, 鈴木宏, 森島恒雄, 横田俊平
441	日本小児科学会雑誌(0001-6543)111巻12号 Page1545-1558(2007.12)	インフルエンザに伴う臨床症状の発現状況に関する調査研究(第1報) 薬剤使用および臨床症状発現の臨床的検討	横田俊平, 藤田利治, 森雅亮, 根津敦夫, 奥村彰久, 細矢光亮, 鈴木宏, 鈴木ゆめ, 黒岩義之
442	感染症(0301-259X)37巻6号 Page228-231(2007.11)	インフルエンザにおける異常行動	横田俊平
443	小児内科(0385-6305)39巻11号 Page2056-2058(2007.11)	【症例に学ぶ 診断に苦慮する長引く発熱疾患】炎症性筋線維芽細胞性腫瘍	今川智之, 横田俊平
444	リウマチ科(0915-227X)38巻4号 Page397-403(2007.10)	若年性特発性関節炎とマクロファージ活性化症候群 病態の把握と治療のストラテジー	横田俊平
445	日本内科学会雑誌(0021-5384)96巻10号 Page2226-2234(2007.10)	【膠原病 診断と治療の進歩】最近の話題 知っておきたい小児のリウマチ・膠原病	横田俊平
446	小児内科(0385-6305)39巻10号 Page1473-1477(2007.10)	【予防接種Q&A】アメリカの予防接種を決める仕組み Advisory Committee on Immunization Practicesについて	横田俊平
447	日本小児科学会雑誌(0001-6543)111巻9号 Page1167-1171(2007.09)	全身型若年性特発性関節炎として加療された腹部炎症性筋線維芽細胞性腫瘍の1例	中岸保夫, 木下順平, 小澤礼美, 黒澤るみ子, 今川智之, 森雅亮, 山中正二, 原光彦, 横田俊平
448	日本小児リウマチ学会, 日本小児科学会雑誌(0001-6543)111巻8号 Page1103-1112(2007.08)	若年性特発性関節炎初期診療の手引き(2007年)	横田俊平, 森雅亮, 今川智之, 武井修治, 村田卓司, 富板美奈子, 伊藤保彦, 藤川敏
449	リウマチ科(0915-227X)38巻1号 Page48-52(2007.07)	小児リウマチ性疾患に対する生物学的製剤の適応と問題点	横田俊平
450	Progress in Medicine(0287-3648)27巻7号 Page1583-1588(2007.07)	病態から考えた治療法の展開 血漿交換療法からサイトカイン遮断療法まで	横田俊平
451	小児科診療(0386-9806)70巻7号 Page1157-1163(2007.07)	【小児のくすり最新情報】小児リウマチ性疾患における抗サイトカイン薬	森雅亮, 横田俊平
452	日本臨床(0047-1852)65巻7号 Page1331-1335(2007.07)	【生物学的製剤の免疫薬理と臨床 変貌する関節リウマチ治療ストラテジー】若年性特発性関節炎への生物学的製剤の適応と問題点	横田俊平
453	日本医師会雑誌(0021-4493)136巻4別冊 Page73-79(2007.07)	子ども支援日本医師会宣言の実現を目指して 親子が育つ医師会の地域づくり「米国予防接種の実施に関する諮問委員会(ACIP)」について わが国の予防接種プラン策定に新しいシステムの導入	横田俊平
454	日本臨床免疫学会誌(0911-4300)30巻3号 Page198-201(2007.06)	ポジトロン断層撮影法がearly pre-pulseless phaseでの早期診断に有用であった大動脈炎症候群の1女児例	木下順平, 中岸保夫, 小澤礼美, 黒澤るみ子, 今川智之, 森雅亮, 満田年宏, 相原雄幸, 橋本邦生, 向山徳子, 横田俊平
455	NEUROINFECTION(1348-2718)12巻1号 Page87-92(2007.06)	インフルエンザ脳症の臨床的解析と発症のメカニズムについて	横田俊平
456	最新医学(0370-8241)62巻5号 Page1065-1070(2007.05)	【若年性特発性関節炎 診断と治療における進歩】抗IL-6受容体抗体の全身型若年性特発性関節炎への適応と使用上の問題	今川智之, 横田俊平
457	最新医学(0370-8241)62巻5号 Page1042-1050(2007.05)	【若年性特発性関節炎 診断と治療における進歩】全身型・関節型若年性特発性関節炎の治療の組み立て方 NSAIDsおよびステロイド薬の使用法と小児に対するDMARDsの限界	宮前多佳子, 森雅亮, 今川智之, 横田俊平
458	最新医学(0370-8241)62巻5号 Page1024-1029(2007.05)	【若年性特発性関節炎 診断と治療における進歩】全身型および多関節型若年性特発性関節炎の画像所見 両者は同じ関節炎か? 画像所見からのアプローチ	稲葉裕, 小澤礼美, 斎藤知行, 横田俊平
459	最新医学(0370-8241)62巻5号 Page997-1003(2007.05)	【若年性特発性関節炎 診断と治療における進歩】アプローチ リウマチ性疾患の認識 全身性疾患としての「若年性特発性関節炎」	横田俊平
460	日本医事新報(0385-9215)4332号 Page63-69(2007.05)	小児リウマチ性疾患の新しい治療	横田俊平, 今川智之, 中島章子, 宮前多佳子, 伊藤秀一, 森雅亮
461	日本小児科学会雑誌(0001-6543)111巻5号 Page659-665(2007.05)	インフルエンザ脳症特殊治療の全国調査	小林慈典(インフルエンザ脳炎・脳症治療研究会), 富樫武弘, 水口雅, 宮崎千明, 市山高志, 河島尚志, 木村宏, 奥村彰久, 栗原まな, 黒木春郎, 塩見正司, 布井博幸, 細矢光亮, 鍵本聖一, 森島恒雄, 横田俊平
462	小児科診療(0386-9806)70巻5号 Page725-729(2007.05)	【研修医のための外来診療の基本】外来での診かたをどう学ぶか	横田俊平
463	日本医事新報(0385-9215)4330号 Page97(2007.04)	小児インフルエンザの薬物治療	横田俊平
464	小児科診療(0386-9806)70巻増刊 Page3-7(2007.04)	【症候からみた小児の診断学】一般的症候 発熱, 持続する発熱	横田俊平
465	内科(0022-1961)99巻4号 Page636-638(2007.04)	【リウマチ治療の新時代 治療薬を使いこなす】特殊な状態に対する配慮 小児	横田俊平

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
466	日本小児科学会雑誌(0001-6543)111巻3号 Page462-468(2007.03)	小児期の線維筋痛症3症例の経験	横田俊平, 梅林宏明, 宮前多佳子, 今川智之, 森雅亮	小児科
467	小児科(0037-4121)48巻2号 Page183-188(2007.02)	小児医学最近の進歩 小児リウマチ性疾患における抗CCP抗体の検出率と意義	森雅亮, 中島章子, 横田俊平	小児科
468	小児内科(0385-6305)39巻6号 Page851-853(2007.06)	【プライマリ・ケア医のための関節リウマチの診かた知っておきたいその基本と最新知見】若年性特発性関節炎の診断と治療	横田俊平	小児科
469	小児内科(0385-6305)39巻6号 Page851-853(2007.06)	【大きく変わりつつある治療法】全身型若年性特発性関節炎のトシリズマブ治療	今川智之	小児科
470	日本臨床免疫学会誌(0911-4300)30巻2号 Page86-89(2007.04)	【Autoinflammatory syndromeの新たな展開と治療法の確立】高IgD症候群のMVK遺伝子異常と新しい治療法の導入	成戸卓也	小児科
471	小児内科(0385-6305)39巻11号 Page2089-2091(2007.11)	【症例に学ぶ 診断に苦慮する長引く発熱疾患】結核菌感染診断用インターフェロン-γ測定 クオンティフェロン(Quanti FERON-TB2G)	森雅亮	小児科
472	小児科臨床(0021-518X)60巻12号 Page2535-2541(2007.12)	【子どもの薬 私なら今これをこう使う】小児に日常よく使われる薬とその使い方 抗サイトカイン薬	森雅亮	小児科
473	小児内科(0385-6305)39巻10号 Page1631-1632(2007.10)	【予防接種Q&A】BCG・ツベルクリン検査 副反応3か月前にBCGを受けた左側の腋窩のリンパ節が大きくなりました。どう処置したらよいでしょうか	森雅亮	小児科
474	小児内科(0385-6305)39巻10号 Page1629-1630(2007.10)	【予防接種Q&A】BCG・ツベルクリン検査 コッホ現象 BCG接種翌日から、接種部位が赤く腫れました。なぜですか。どのようなことが考えられますか。治療はどうしたらよいのでしょうか	森雅亮	小児科
475	小児科(0037-4121)48巻9号 Page1317-1326(2007.08)	小児における深在性真菌性 診断・治療のガイドラインに則して	森雅亮	小児科
476	最新医学(0370-8241)62巻5号 Page1051-1055(2007.05)	【若年性特発性関節炎 診断と治療における進歩】関節型若年性特発性関節炎に対する国際的標準治療法としてのメトトレキサート療法	森雅亮	小児科
477	ナーシングケアQ&A(1349-0869)16号 Page222-223(2007.05)	【これだけは知っておきたい小児ケアQ&A】小児の感染症と看護 結核について、教えてください	森雅亮	小児科
478	日本小児臨床薬理学会雑誌(1342-6753)19巻1号 Page139-142(2006.12)	リウマチ性疾患へのメトトレキサート(MTX)、抗TNF製剤	森雅亮	小児科
479	化学療法領域(0913-2384)23巻3号 Page403-409(2007.02)	【変貌する小児感染症の現状と対策】小児科病棟に特有の院内感染症とその対策 院内感染マニュアルの作成に向けて	森雅亮	小児科
480	小児内科(0385-6305)39巻増刊 Page748-750(2007.11)	【小児中枢神経系疾患の画像診断2008】疾患別アトラス編 全身性疾患の中枢神経病変 Behcet病	宮前多佳子	小児科
481	臨床血液48巻6号 Page495-500(2007.06)	骨髄非破壊的前処置を用いた臍帯血移植後早期の原病再活性化が生着不全に関連した家族性血球貪食症候群	柳町昌克, 後藤裕明, 横須賀とも子, 梶原良介, 黒木文子, 伊藤秀一, 横田俊平	小児科
482	小児がん44巻1号 Page9-14(2007.05)	小脳原発髄芽腫の第3再発に対して topotecan, thiotepa, carboplatin を前処置とした大量化学療法、および temozolomide による維持療法を行い無病生存している8歳男児例	梶原良介, 後藤裕明, 柳町昌克, 黒木文子, 高橋浩之, 横田俊平, 菅野洋, 大村素子	小児科
483	臨床血液(0485-1439)48巻3号 Page223-228(2007.03)	化学療法後の骨髄抑制中に急性虫垂炎を発生した急性白血病の3例	梶原良介, 後藤裕明, 横須賀とも子, 柳町昌克, 黒木文子, 藤井久紀, 高橋浩之, 横田俊平	小児科
484	小児科, 48, 237-245, 2007	尿中 2-microglobulin を用いた未熟児慢性肺疾患の管理	西巻滋	小児科
485	日本腰痛学会誌	運動型腰椎用CPMIによる長時間着座姿勢における腰痛の予防効果	青田洋一	整形外科
486	頭頸部癌 33:317-321, 2007	舌口腔底再建における工夫	前川二郎	形成外科
487	こども医療センター医学誌 23(2):140-141, 2007	顎発達をしない口蓋裂手術の開発・評価	広富浩一	形成外科
488	形成外科 50:1033-1039, 2007	顔面骨骨折に対するナビゲーション支援手術の経験	前川二郎	形成外科
489	診断と治療 95:747-752, 2007	【浮腫の診断と治療】四肢リンパ浮腫の病態と診断・治療	前川二郎	形成外科
490	あたらしい眼科 24:219-222, 2007	上眼瞼Merkel細胞癌の1例	前川二郎	形成外科
491	形成外科 50:197-203, 2007	小耳症患者の母親109名に対するアンケート調査報告	前川二郎	形成外科
492	日本口腔外科学会雑誌 53:103-107, 2007	頬部に生じた動静脈奇形の1例	前川二郎	形成外科

計 492

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。  
2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 今田 敏夫		
管理担当者氏名	総務課長 堀川 尚実	医事課長 谷口 尚三	

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医事課（病歴室） サーバー室 及び関係記録部課	病歴資料については、個々の患者ごとに作成・保管管理（1患者1カルテ） 電子カルテ稼動後のデータについては、セキュリティを確保したサーバー室にて保管・管理 処方箋は薬剤部で管理 X線写真は病歴室で保管・管理
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	職員課	
	高度の医療の提供の実績	医事課（病歴室）	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科	
	高度の医療の研修の実績	各診療科	
	閲覧実績		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課（病歴室）	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課	
確保規則の第9条の2及び第1条の11各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課 (患者相談窓口)	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室		

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	集中治療室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	総務課
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	総務課		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 今田 敏夫
閲覧担当者氏名	総務課長 堀川 尚実 医事課長 谷口 尚三
閲覧の求めに応じる場所	会議室 又は 閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	62.8 %	算定期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		11,299 人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		6,715 人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		518 人
	D：初診の患者の数		22,812 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に 100 を乗じて小数点以下第 1 位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。